

「未来を選択する会議」 —人口減少時代の生き方、暮らし方、働き方を考える— 設立趣意書

【未来を選択する】

わが国は本格的な人口減少時代に突入しました。少子化は、これまで国を挙げて取り組まれてきた重要課題であり、各種政策も講じられてきましたが、その進行には歯止めがかからず、状況は深刻さを増しています。このまま推移するならば、社会や経済、地域、そして国民の生活全般に大きな影響が及ぶことが予想されます。

こうした歴史的な転換期にあつて、今を生きる私たちは、これからの行動如何で未来は変え得るものであるとの認識の下、選択し得る望ましい未来の構築を目指していくことが求められています。

【人口減少時代の生き方、暮らし方、働き方を考える】

希望するすべての人が安心して結婚し、子どもを持ち、育てられる社会を実現し、少子化の流れを変えるとともに、誰もが生涯にわたって活躍できる環境を整えること、すなわち、人口減少動向を緩和させつつ、多様性と成長力を兼ね備えた持続可能で活力ある社会を構築することが私たちの大きな目標となります。

そのためには、国民一人ひとりが豊かで安心してくらすことができる成長力のある社会の実現に向けて、人口減少時代の生き方、暮らし方、働き方を考え、それに基づき社会経済全般にわたって改革を進めていく必要があります。

【社会の気運醸成に取り組む】

政府は「こども未来戦略」（令和5年12月22日閣議決定）に基づき、「こどもまんなか」を掲げ、2030年までをラストチャンスとして少子化の流れを変えていくため、切れ目のない子育て支援の充実を図るとともに、「共働き・共育て」を推進しています。

今こそ「生き方」「暮らし方」「働き方」を見つめ直し、社会全体の構造や意識の改革に向けて、企業、地域、高齢者、独身者など、すべての人々が主体的に関わる「社会の気運醸成」に取り組むことが重要です。

以上を踏まえ、社会の気運醸成に向けて、経済界、労働界、地方自治体、関係団体、有識者、若者世代など幅広いステークホルダーが参画する民間主導の取組みとして、「未来を選択する会議」（英語名：Forum for the Future We Choose）を設立します。